

次世代声優WS第1期出身者

アニメ「人面犬」収録後インタビュー@2013年9月9日

昨年開催された当WS1期出身者2名が開催後2週間後、早々にアニメ作品へ出演決定！
以下、現在多くの作品で活躍している、当WS出身者、大前愛華、南嶋毅が声優として初のアフレコ体験後のインタビューとなります！

山田陽 : スタジオドンファン主宰、音響監督
小川智弘 : コミックスウェーブ取締役、プロデューサー

大前愛華 : 次世代声優発掘WS第1期出身者、アニメ「人面犬」マルチーズ役、ラブラドル役
南嶋毅 : 次世代声優発掘WS第1期出身者、アニメ「人面犬」ボクサー役



山田 人面犬、第一回目の収録、とりあえずおつかれさまでした。

大前、南嶋 おつかれさまでした。

山田 プロデューサーの小川さんに説明すると、要は、さっき言ったヒラタオフィスミュージックの工藤さんと声優発掘に関して、ずーっとこのプロジェクトをアツためて、「どっかでやろうよ、、」という話をして、それで急遽、7月末に、学生が夏休みの間に地方へも募集してオーディション的なものを作って、いい子がいれば、サポートして本格的に育成していこうと。
要は声優の技術や心得、技術を教えたはいいけど、じゃ、その後、その子達どこいくの？ってなると困るので、そういうことにならないコンセプトを基に、実は今回、一回目なんですけど開催し、大前、南嶋を

サポートすることになったんです。
で、まあ、大前さんは一応、大阪の声優系の専門学校を出て
今年4月から東京に出てきてて…。

大前 はい、今年4月から東京です。

山田 で、南嶋君は実はまだ声優系の専門学校にいて、、1年生なんだよね？

南嶋 はい、1年生です。

小川 P 1年生なの(笑)？

南嶋 はい(笑)!

山田 なので、まだ4月から専門学校入って半年なんだよね。

小川 P へえ～、、、19歳なんですか？

南嶋 はい！今年19歳です！

小川 P すげえ！

山田 それで、このWSのオーディションの後、ちょっとレッスンもさせて、
今日のアフレコ本番に挑んだんですけど、まず率直に小川さんの意見を
聞きたいなど。

小川 P じゃあ、、、あの、、、今、彼らが本番1回目だと聞いて、
ちょっとびっくりしました！
えーと、大分、一回目とは感じさせない感じでした。
それはね、いくつかまだ問題というか、大前さんだったら
イントネーションとか、南嶋くんだったらお芝居の部分とか、
あるといえばありましたけどね。

山田 じゃあ、でも、僕も彼らを選んだ理由のひとつに「現場に出て動じないやつを」
というのがやっぱりありましたね。
この2人に関しては動じないタイプだったので。

小川 P なんかその動じないって部分で、本番で、ちゃんとお芝居とか出てくるんでしょうけどね。いあ、全然大丈夫ですよ！
ねえ、ボクサー役とかは、ちょっと大分ちゃんとした人にやって貰わないと！
と思ってたんですけど、全然 OK でしたよ！

山田 南嶋は、声質は良いよね！声質は！あとでも芝居がね…。

小川 P そう。

山田 確かにそこは、まだまだ、、なとこなんだけど…。
だから、事前に本番へ向けて一回レッスンしてるから、その演出には対応できるけど、そこから外れると、ちょっとね…。

南嶋 そうですね、まだちょっと応用力というか…。

山田 とぎれとぎれになったりね、、あとセリフのリズム感が、ちょっとまだかな、、と。大前は専門学校卒業しててリズム感があるけど、
今度はイントネーションが…とかいう問題があったりして…

大前 そうですね、、

小川 P まあね、でも、それもね、慣れだと思いますし、、逆にね、
そういう違うイントネーションしゃべれるっていうのは、
強みにもなったりね。

山田 ああそうそう、大阪弁は、しゃべれないんだっけ？

大前 どっちも多少はというか、大阪も 2 年間だけ住んでいて、
その分のイントネーションはしゃべれるんですけど。

山田 でも、大阪人に言わせたら、それはネーティブじゃないよ！って
言われるかもよ。。

大前 確かにちょっと違うかな！って言われるんですけど。

小川 P 出身は広島でしたっけ？

大前 はい、広島出身です。

小川 P じゃ広島弁はできるんですよね？

大前 はい！広島弁は OK です！

小川 P ネーティブな広島弁だね！

大前 はい、ネーティブです！

山田 とりあえず今日の感想を聞いておこうかなと。

大前 あの、ものすごく楽しかったんですよ！始めてこういう現場に立てて、ド緊張して何も出来なくなってしまうのではないかなあ、、、と
思ってたんですけど緊張が表に出過ぎてて、大丈夫？ってなる事もなく、
本当に良い経験になりました。一番最初のアフレコ収録にしては、
なんかこう、楽しくできたという感覚が私はものすごく嬉しかったので、
それがとても良かったです！！

南嶋 8月の中盤にこのワークショップがあって、今日この収録があって、
本当にあっという間だったので

山田 これ(ワークショップから)2週間勝負ですからね(笑)！

南嶋 本当、動揺する暇もないというか、早く読まないって事で、
現場に来てもなんていうか、緊張する暇がなかったので、逆に楽にできた、、、
というのもあるんですけど、本当に最初頂いた役なのに、
とてもカッコいい役だったので、本当に嬉しくて、楽しくて、
でもなんか、やっぱり自分のセリフの持ってき方が、
やっぱり現場に出るとより一層ヘタクソってというのが、、、
勿論、自分の中の今出来るものは全部表現してるんですけど、
やっぱり痛感したというか…

山田 まあ、まだまだ色々分からないことも多いだろうしね、
普通そういう感じなんだよ、最初に現場に出るってことは。
ただ声はイイよね！

小川 P うんうん(納得)。そういう意味では怖いもん無しだよな！
分からないところは分からないわけだから、だから、それはそれで
ドンドンやって行けば良いんだよ。その中で足りない！と感じたところは、
また、ドンドン足して行けば良いと思いますよ。
いやでも本当に、(収録初経験だったとは)ビックリですよ！

山田 まあ、第一回目という事でいえば、まあ、良かったですよ！
俺として困るのは(収録時に)セリフが出てこなくなっちゃったりとかね、
うわずっちゃったりとかね、、そういうの多いので、根性ある2人だよな。

小川 P うんうん(納得)。

山田 まあ、ぜひ、今後とも何かあれば、、(2人をよろしくね！)

小川 P はい！

山田 じゃー、今後ともお2人も頑張っへ行こうね！

大前、南嶋 はい！！

山田 今日はありがとうございました！

全員 ありがとうございました！